



HAMAGINSOUKEN NEWS

2007年6月6日

神奈川県内上場企業の 2007 年 3 月期決算の集計結果

—— +4.6%の増収、+17.1%の経常増益～最高益を更新——

ポイント

1. 神奈川県内上場企業（新興市場、金融などを除く）の 2007 年 3 月期決算（2006 年度）を当社で集計したところ、全産業ベース（連結ベース、製造業 64 社、非製造業 27 社の計 91 社）の売上高は前年比 4.6%増加し、経常利益も同 17.1%増加した（図表 1）。年度ベースでは、2004 年度以来 2 年ぶりの増収増益となり、過去最高益を更新した（図表 2）。なお、四半期ごとに区切ってみても、2006 年度は 4 四半期連続の増収増益となった（図表 3）。
2. 売上高は国内外の景気拡大を受けて増加している。主要業種別には、設備投資の増加を反映して一般機械やプラント建設で売上高が高い伸びとなった。反面で、国内乗用車販売の不振から自動車・同部品は減収となった。地域別にみると、国内売上高が前年比 2.5%増と堅調に増加する一方、海外売上高もアジア地域をけん引役として同 9.4%増と大幅な増収が続いている（図表 4）。
3. 一方の経常利益は増益に転じた。経常利益が増加したのは、売上高が増加したことに加えて、合理化努力や製商品価格の引き上げによって固定費の増加や原材料価格の高騰を吸収したためである。主要業種別には、売上高を大きく伸ばした一般機械やプラント建設が大幅な増益となった。一方で、自動車・同部品は減収に加えて原材料価格の上昇が収益を圧迫し減益となった。
4. 今後についても、県内上場企業の収益は拡大傾向をたどるとみられる。各社の 2007 年度の業績予想を集計したところ、売上高は前年比 3.5%増加し、経常利益も同 16.7%増加するという結果が得られた。米国経済の減速や原材料価格の高騰などがリスク要因として残るものの、国内外の景気拡大持続を背景に県内上場企業の収益は増加を続けると見込まれる。

【本件についてのお問い合わせ先】

(株)浜銀総合研究所 調査部 祝朋宏、新瀧健一
電話 045-225-2375 (ダイヤル)

図表 1 神奈川県内上場企業の 2007 年 3 月期決算の概要

(前年比増減率、%)

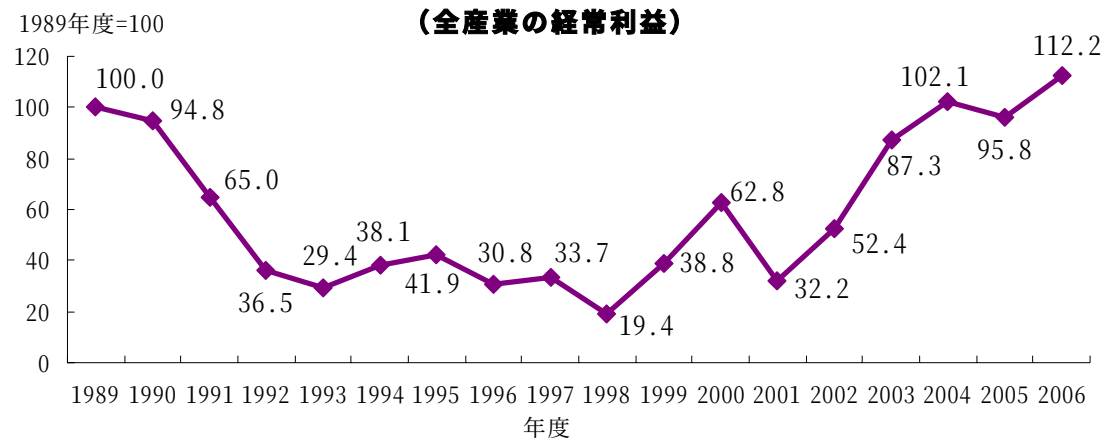
		集計 社数	05年度	06年度	07年度	2005年度		2006年度		2007年度	
			通期	通期	通期	上期	下期	上期	下期	上期	下期
			実績	実績	予想						
売上高	全産業	91	5.9	4.6	3.5	3.8	7.8	4.5	4.7	5.6	1.6
	製造業	64	2.9	2.0	3.8	0.2	5.5	2.4	1.7	3.2	4.2
	素材型	15	8.1	▲ 5.4	3.0	6.3	9.7	▲ 3.0	▲ 7.5	2.6	3.3
	加工型	49	2.3	3.0	3.9	▲ 0.5	5.0	3.1	2.9	3.3	4.3
	一般機械	12	11.7	11.8	7.5	9.1	14.0	11.5	12.2	11.0	4.6
	電気機械	15	▲ 4.7	1.4	3.1	▲ 9.2	▲ 0.3	4.4	▲ 1.2	▲ 0.6	6.7
	自動車・同部品	11	8.3	▲ 2.2	▲ 1.7	6.5	10.1	▲ 4.9	0.4	0.9	▲ 4.1
	その他加工型	11	4.8	7.3	9.3	4.4	5.1	6.0	8.4	9.0	9.5
	非製造業	27	11.7	9.2	2.9	11.2	12.2	8.3	9.9	9.6	▲ 2.8
経常利益	プラント建設	5	25.8	15.9	▲ 0.3	30.6	22.3	16.3	15.6	15.9	▲ 13.0
	全産業	91	▲ 6.1	17.1	16.7	▲ 15.1	2.3	12.8	20.5	5.0	25.2
	製造業	64	▲ 22.5	12.0	28.4	▲ 32.1	▲ 12.5	11.8	12.2	▲ 4.0	54.5
	素材型	15	48.6	1.2	▲ 1.3	52.1	45.7	1.9	0.7	▲ 4.1	1.1
	加工型	49	▲ 35.4	16.5	39.2	▲ 45.4	▲ 24.5	16.2	16.8	▲ 3.9	72.7
	一般機械	12	23.5	20.6	8.9	26.6	21.0	20.1	21.1	10.0	7.9
	電気機械	15	赤字転化	赤字縮小	黒字転化	赤字転化	赤字転化	赤字縮小	赤字拡大	赤字拡大	黒字転化
	自動車・同部品	11	▲ 2.6	▲ 5.3	▲ 7.9	▲ 17.3	13.3	▲ 26.4	11.5	▲ 0.5	▲ 11.8
	その他加工型	11	11.9	9.2	15.9	11.8	11.9	1.1	16.2	5.2	23.9
利益	非製造業	27	27.6	23.4	3.3	25.8	29.0	14.0	30.5	16.4	▲ 5.3
	プラント建設	5	14.2	55.9	5.1	91.6	51.3	52.1	58.6	8.4	▲ 2.0

(注 1) 集計対象は、①全国の証券取引所に上場している 3 月本決算企業（新興市場、金融を除く）のうち、神奈川県内に実質的な本社を置き、②2004 年度から時系列での比較が可能な企業 91 社。集計には連結ベースの計数を使用。なお、連結子会社等がない企業に関しては非連結ベースで集計。**集計基準日は 5 月 31 日時点。**

(注 2) 2007 年度通期予想は各社の業績予想を集計。また、各年度下期は年度通期から上期分を差し引いたもの。

(各社「平成 19 年 3 月期 決算短信」などから浜銀総研作成、以下同様。)

図表2 経常利益は過去最高を更新



(注)連結（非連結決算の場合は単独）経常利益が前年度と比較可能な企業について、各年度ごとに集計した伸び率で1989年度まで遡及し計算した。ただし、1989年度の経常利益額を100として指数化している。

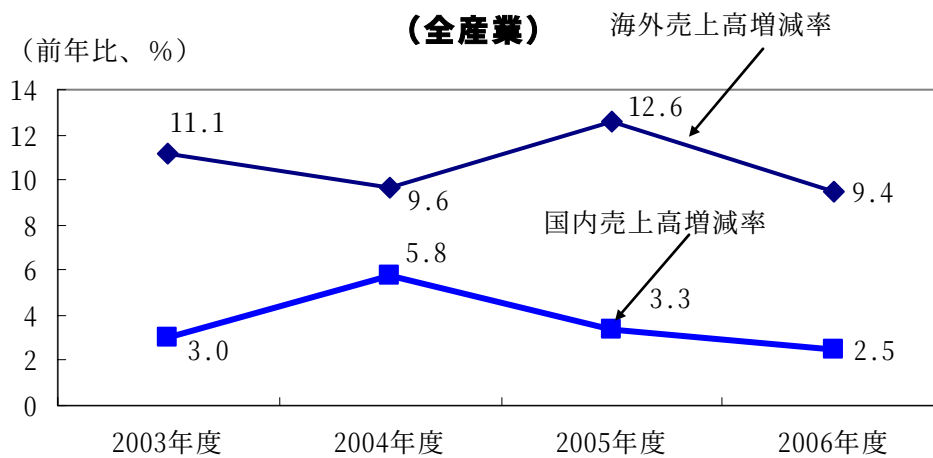
図表3 神奈川県内上場企業の四半期業績の推移

	2005年度		2006年度			
	第3四半期 (10～12月期)	第4四半期 (1～3月期)	第1四半期 (4～6月期)	第2四半期 (7～9月期)	第3四半期 (10～12月期)	第4四半期 (1～3月期)
	実績	実績	実績	実績	実績	実績
売上高（全産業）	7.0	6.8	5.6	2.7	3.2	5.1
経常利益（全産業）	11.0	▲ 10.6	16.4	11.8	18.9	14.3

(注1) 2005年度の四半期ごとの売上高、経常利益の前年比が計算できない企業など10社を除く81社を対象に集計。このため、図表1の集計対象企業とは一致しない。

(注2) 各社が3か月ごとに発表する資料は年度初めからの累計値であるが、本表は各四半期の3か月間の数字を記載している。例えば、2006年度10～12月期実績は、各社発表資料の2006年度4～12月期累計値から4～9月期実績を引いたうえで、前年比増減率を算出している。

図表4 国内売上高と海外売上高の推移



(注) 国内売上高は売上高から海外売上高を引いて算出している。

参考表1 集計対象企業の売上規模

	全体		3月期決算		今回集計	
	企業数 社	売上規模 億円	企業数 社	売上規模 億円	企業数 社	売上規模 億円
全上場企業	200	129,380	144	108,460	91	98,274
上場企業	119	113,734	91	98,274	91	98,274
東証1部	79	99,070	61	86,819	61	86,819
東証2部	39	14,370	29	11,161	29	11,161
大証	1	294	1	294	1	294
新興市場	81	15,646	53	10,186	0	0
JASDAQ	65	14,693	44	9,534	0	0
東証マザーズ	11	362	5	191	0	0
大証ヘラクレス	3	346	3	346	0	0
名証セントレックス	2	246	1	115	0	0

(注) 売上規模は直近決算期における通期連結売上高。今回発表した91社ベースの売上規模カバレッジは76.0%である。企業数は2007年5月31日時点(金融業は除く)。

参考表 2 - 1 2007 年 3 月期売上高ランキング（上位 10 社）

	コード	社 名	2006年度 売上高（百万円）
1	6792	日本ビクター	742,685
2	6723	N E C エレクトロニクス	692,280
3	1963	日揮	608,529
4	7222	日産車体	567,786
5	6366	千代田化工建設	484,895
6	5991	ニッパツ	428,059
7	9003	相模鉄道	302,644
8	8089	ナイス	284,190
9	6113	アマダ	262,239
10	9066	日新	220,170

参考表 2 - 2 売上高増加額（前年同期比）ランキング（上位 10 社）

	コード	社 名	2006年度 前年比増収額（百万円）
1	6366	千代田化工建設	94,020
2	1963	日揮	58,228
3	6723	N E C エレクトロニクス	46,317
4	5991	ニッパツ	44,963
5	6113	アマダ	40,459
6	7246	プレス工業	28,805
7	7616	コロワイド	23,941
8	8089	ナイス	21,788
9	1983	東芝プラントシステム	20,477
10	2719	キタムラ	18,258

参考表 3 - 1 2007 年 3 月期経常利益ランキング（上位 10 社）

	コード	社 名	2006年度 経常利益（百万円）
1	6113	アマダ	44,491
2	6366	千代田化工建設	36,797
3	1963	日揮	33,029
4	5991	ニッパツ	27,185
5	7222	日産車体	20,952
6	9003	相模鉄道	17,334
7	7988	ニフコ	14,382
8	1880	スルガコーポレーション	13,043
9	8214	A O K I ホールディングス	11,749
10	4186	東京応化工業	11,677

参考表 3 - 2 経常利益増加額（前年同期比）ランキング（上位 10 社）

	コード	社 名	2006年度 前年比増益額（百万円）
1	6366	千代田化工建設	13,636
2	6113	アマダ	11,232
3	1963	日揮	9,575
4	6723	N E C エレクトロニクス＊	7,011
5	1983	東芝プラントシステム	4,272
6	1880	スルガコーポレーション	4,007
7	6379	新興プラントテック	3,748
8	5991	ニッパツ	3,573
9	6792	日本ビクター＊	3,343
10	6735	ディーアンドエムホールディングス	2,581

（注 1） N E C エレクトロニクス（6723）は米国会計基準のため、経常利益の代わりに税引き前利益を用いた。

（注 2） ＊は赤字幅縮小の企業である。